エレクトロニクス部会ニュース

Vol. 10, No. 4a (通巻No. 61) 2018年10月22日

化学工学会エレクトロニクス部会ニュースをお届けします。内容は11月2日開催予定の第2回シンポジウムの案内と、 平成30年度第4回幹事会のトピックです。また、8月22日に開催された2018年度第1回シンポジウム報告を別冊に てお届けします。

■告知 第2回シンポジウムの開催について

2018年度第2回シンポジウムを、以下の要領で開催します。皆様のご参加をお待ちしております。

【日時】2018年11月2日(金)13:00

【場所】 大阪科学技術センター (アクセス 地下鉄御堂筋線・谷町線 本町駅下車 徒歩 5-8 分)

【プログラム】 確定版。ML 宛てに案内済みのものから順番の変更があります。

※敬称略

5µm 以下のプリント基板配線技術 明島周三 (元東芝技監) Rising Technologies Co., Ltd 大型基板の高密度配線形成ソリューション 株式会社 アルバック 森川 泰宏 高密度基板設計のための CAD ツール 株式会社 図研 長谷川 清久 ビア埋め込みの低線膨張めっき液 株式会社 微小めっき研究所 近藤 和夫 露光装置の大型基板への対応 株式会社 オーク製作所 佐藤 仁 パッケージ基板市場と大型基板への CMP 技術 グローバルネット株式会社 武野 泰彦

【申込先】 大阪府立大学微小めつき研究センター 嘉田(electronic-d@21c.osakafu-u.ac.jp) 下記事項を明記の上, お申し込みください。

- 1. 氏名(フリガナ) 2. 勤務先および住所(所属部署まで) 3. メールアドレス、

- 4. Tel/Fax
- 5. 懇親会参加の有無
- 6. 会員資格(化学工学会会員、化学工学会エレクトロニクス部会員/団体会員の社員、ESIC、表面技術協 会、JPCA、JIEP、MSTE、大学関係者、その他一般)
- ※参加費用など詳細は、こちら(http://www2.scej.org/elebukai/docs/symposium_2018_03.pdf)をご参照ください.

■ 2018 年度第 4 回幹事会トピック

・日時 平成 30 年(2018年) 10 月 19 日(金) 14:00~17:00

・場所 住友ベークライト株式会社本社 20 階(天王洲パークサイドビル)

近藤部会長,横沢副部会長,萩野,嘉田,薦田,武野, ・出席者

及川, 吉野 各幹事の8名(敬称略)

- 横沢幹事 •議事進行
- ・幹事会講演会 今回は議題が多く、開催はありませんでした。次回以降のご参加をお待ちしております。
- 1. 前回(8/1)幹事会議事録の承認
- 2. 会員異動, 幹事名簿確認
 - ・化学工学会誌トピック委員は、鳥成幹事が継続して勤めることになりました。
 - ・岡本幹事の退任が承認されました。
- 3. 会計報告

平成 30 年(2018 年)度 8 月~9 月度の会計報告があり,承認されました。シンポジウム収支など詳細 は資料1をご参照ください。

- 4. 平成 30 年(2018 年)度第 1 回エレクトロニクス部会シンポジウム報告 参加者は 76 名(講演者 5 名を含む)でした。また一般参加者から、4 名の方の部会入会がありました。
- 5. 平成 30 年度第 2 回シンポジウムについて
 - ・第2回シンポジウムプログラムの最終確認を行いました。また当日の役割分担の確認を行いました。
 - ・一般参加者の方(部会員・協賛会員以外の方)でご希望の方には、シンポジウム当日に部会入会申し込みをいただくことにより、シンポジウム参加費を減額するとともに、2019年度の会費を免除といたします。 部会員増強活動の一環となるほか、参加費が減額となるメリットがありますので、是非周囲の方々にもご紹介ください。

【講演資料について】

第2回シンポジウムの講演資料は、10月29日の週にダウンロードできるようにします(参加申し込みの方限定)。当日の配付資料はありませんので、必要な方は前もってご用意願います。

- 6. 2019 年度の活動内容について (予算案作成にむけて)
 - ・アジア太平洋化学工学連合会議 2019 (APCChE2019, 札幌, 2019/9) にて、エレクトロニクス材料およびプロセスに関するシンポジウムを開催します。海外含め複数名の講演者を招聘予定です。
 - ・部会シンポジウムのテーマや開催時期、海外招待講演の有無は、次回以降に議論を行います。
 - ・2019 年度は,上記 2 件のシンポジウム(APCChE2019,エレクトロニクス部会シンポジウム)を開催します。なお化学工学会秋季大会でのシンポジウム開催は,見送ることになりました。
 - ・各シンポジウム開催にあたり、必要に応じて積立金を活用することが確認されました。

7. 部会活性化について

・会員、幹事の増強について

様々なバックグランドを持った人財に協力いただくべく、講演会での講演を依頼した講師に部会への入会と幹事としての活動を依頼してはどうか、という意見が出て、その方向で調整することになりました。

・シンポジウムについて

今年度は関東、関西でそれぞれ一回ずつの開催ですが、遠方の会員は参加しにくい状況であることから、ウェブで中継をしてはどうか、との提案がありました。これに対し、著作権の問題や非公開資料の扱い(講演の場ではスライドを開示するが、配布資料にはいれない資料の扱いなど)など公開方法や、参加費徴収が難しい、などの意見が出されました。この点については、たとえばパブリックビューイング方式(特定会場で参加受付の上視聴)ができないか、など、遠方の会員にも公平に機会提供する方法を継続議論することになりました。

幹事会について

幹事会は隔月開催であることから,急を要する議論はメールでも行っています。メールなど幹事会の場以外での議題発議や議決内容の有効性など諸ルールを整理の上,定款に盛り込むこととなりました。

・部会ウェブページ更新

更新の滞っていたページは随時更新中です。会員情報や各種問い合わせ先など,優先度の高い項目は遅滞なく更新していきます。

8. NEDO 技術シーズ探索への情報提供 (RFI; Request for Information) について

経済産業省では、2030 年を目処とした持続可能なエネルギー供給の実現や、新産業創出による産業競争力の向上に向けて、新規技術の先導研究を行う提案公募型の研究開発事業を計画しています。本件について、NEDO(国立研究法人シネネルギー・産業技術総合開発機構)より公募課題検討のために幅広く技術シーズを把握することを目的として、情報提供の依頼 RFI がありました。

当部会でも,近藤部会長を中心として IoT や AI, 自動車, 5G に求められる実装技術について,提案内容をまとめていくことになりました。

9. 次回幹事会及び幹事会講演会

日時 2018年12月14日(金)

場所 住友ベークライト株式会社本社 20 階会議室

進行役 横沢幹事

講演会 東工大 鎺 (はばき) 助教 (部会幹事) で調整中

■資料 1

平成30年(2018年)8月~9月会計報告

1. 前回残高(平成30年7月末)

口座残高	2,354,049	円①
積立金	1,800,000	円
実質残高	554,049	円

2. 今回収入と支出

項目	日時	内容	金額(円)
収入	2018/8/3	第3回幹事会 技術交流会 @3K×9名	27,000
	2018/8/20	利息	10
	2018/8/23	第1回シンポジウム 参加費	359,000
	2018/8/23	交流会費	105,000
収入計			491,010
支出	2018/8/3	第3回幹事会 飲み物代	3,960
	2018/8/3		44,000
<u></u>	2018/8/3		64,240
	2018/8/23	第1回シンポジウム 会場費	79,128
	2018/8/23	講師諸謝金	160,408
	2018/8/23	事業費(受付担当交通費)	960
	2018/8/23	雑費(コピー代,講師飲料水)	1,071
	2018/8/23	技術交流会	107,200
	2018/8/23	幹事交通費	31,712
2018/8/24	事業費(源泉徴収税)	15,950	
支出計		508,629	
		月次収支	△ 17,619
		全体収支 ①+②-③	2,336,430

3. 残高(平成30年9月末)

口座残高	2,336,430	円	(5)
積立金	1,800,000	円	
実質残高	536,430	円	

④の全体収支と、⑤の口座残高(平成30年5月末現在)が一致していることが確認された。

備考

第1回シンポジウム単独の収支は以下の内容で確定した。

収入 ¥464,000 支出 ¥396,429 収支 ¥67,571